

報道関係者各位

平成24年7月11日

東日本大震災復興支援事業 日赤キッズクロスプロジェクト  
『サマーキャンプ2012 in クロスヴィレッジ』開催のご案内  
3,600人の子どもたちが北海道でキャンプ：7月21日(土)～8月23日(木)

日本赤十字社では、この度、「日赤キッズクロスプロジェクト」の一環として、平成24年7月21日(土)から8月23日(木)まで、北海道留寿都村(ルスツリゾート)にて「サマーキャンプ2012 in クロスヴィレッジ」を実施します。



「サマーキャンプ2012 in クロスヴィレッジ」は、東日本大震災による影響で、教育および生活環境の変化に伴う精神的ストレスを受けている岩手・宮城・福島の子どもたちに、日常を離れ大自然の中で多くの仲間とともに、思いきり体を動かし楽しく伸びやかに過ごしてもらうことを目的としています。世界中の人々から各国の赤十字社等を通じて寄せられた支援を、子どもたちの「こころの復興支援」につなげます。

■本リリースおよび取材に関する問い合わせ先

日本赤十字社 企画広報室 担当/松野、櫻田、松本、鈴木  
TEL:03-3437-7071 FAX:03-3432-5507

「サマーキャンプ2012 in クロスヴィレッジ」事務局 近畿日本ツーリスト 担当/小西、浅利、西原  
TEL:03-6891-9301 FAX:03-6891-9401

## 実施概要

- 【名称】 平成24年度 日本赤十字社 東日本大震災復興支援事業  
日赤キッズクロスプロジェクト 『サマーキャンプ in クロスヴィレッジ』
- 【開催期間】 平成24年7月21日（土）～8月23日（木）
- 【開催回数】 合計11回（3泊4日を1回とする／330名×11回）
- 【主催】 日本赤十字社
- 【後援】 文部科学省、岩手・宮城・福島県各県教育委員会、仙台市教育委員会、北海道、留寿都村
- 【開催場所】 北海道留寿都村（ルスツリゾート）北海道虻田郡留寿都村泉川13
- 【対象】 東日本大震災によって被災した岩手県、宮城県、福島県の市町村に在住の小学校5、6年生、  
中学校1～3年生 最大見込人数3,615名  
尚、この他に運営スタッフ（ボランティアを含む）として約1,000名が参加します。

### ■報道関係者様用バス

【往路】 7月21日、10時20分 新千歳空港発  
～11時20分 羊ヶ丘  
～16時までにルスツリゾート着

【復路】 ①7月21日の17時30分頃ルスツリゾート発  
～19時頃 新千歳空港着  
②7月22日のお昼頃ルスツリゾート発  
～14時頃 新千歳空港着

の予定でバスを手配いたします。

### ■アクセス

バス → JR札幌駅から洞爺湖温泉行約120分。  
「ルスツ高原前」下車すぐ  
タクシー → JR札幌駅から約90分。  
車 → 新千歳空港から約90分。



### 【運営スタッフ】

日本赤十字社（ボランティア(救急法指導員、青年赤十字奉仕団)、看護師など）、  
日本赤十字北海道看護大学、日本赤十字秋田看護大学、青少年赤十字加盟校の教員、北海道臨床心理士会、  
企業・団体、近畿日本ツーリスト(株)＝委託旅行会社、その他 約1,000名

<プログラム紹介>

日程	行程	
第1日目	<p>各集合場所 → 各空港 → 新千歳空港 新千歳空港 → 会場（ルスツリゾート）</p> <p>*1グループを約14~15名とし、2グループに分ける ユニットA： 1グループ~11グループ ユニットB： 12グループ~22グループ</p> <p><b>16:40 入村式</b> グループミーティング 夕食 入浴・自由時間 点呼・消灯</p>	
第2日目	<p>起床 朝の集い（朝の挨拶・ラジオ体操・レクリエーション） ※雨天時は、内容の変更あり。 Aユニット</p> <p>朝食：アラスカ（食堂） 写真撮影：サンサンフィールド（屋外） <b>10:15~ スタディープログラム 「キッズファーストエイダープログラム」</b> 会場：サンサンフィールド（屋外） 昼食：サンサンフィールド（屋外） <b>13:15~ アクティビティープログラム 「選択プログラム」</b> 集合場所：アラスカ（食堂）</p> <p>グループミーティング 夕食 入浴・自由時間（スタッフミーティング） 点呼・消灯</p>	<p>Bユニット</p> <p>写真撮影：サンサンフィールド（屋外） 朝食：アラスカ（食堂） <b>ワークショップ「うどん作り」</b> 会場：ホルン（2階）</p> <p>昼食：ホルン（2階） <b>アクティビティープログラム 「フィールドワーク」</b> 集合場所：サンサンフィールド（屋外）</p>
第3日目	<p>起床 朝の集い（朝の挨拶・ラジオ体操・レクリエーション） ※雨天時は、内容の変更あり。 朝食：アラスカ（食堂） ユニットA</p> <p><b>10:00~ ワorkshop「うどん作り」</b> 会場：ホルン（2階）</p> <p>昼食：ホルン（2階） <b>13:00~ アクティビティープログラム 「フィールドワーク」</b> 集合場所：サンサンフィールド（屋外）</p> <p><b>16:15~ フェアウェルパーティー</b> 交流会 夕食 キャンプファイヤー グループミーティング</p> <p>入浴・自由時間（スタッフミーティング） 点呼・消灯</p>	<p>ユニットB</p> <p><b>スタディープログラム 「キッズファーストエイダープログラム」</b> 会場：サンサンフィールド（屋外） 昼食：サンサンフィールド（屋外） <b>アクティビティープログラム 「選択プログラム」</b> 集合場所：アラスカ（食堂）</p>
第4日目	<p>起床 朝食 <b>9:00~ 退村式</b> ルスツリゾート ⇒ 新千歳空港 ⇒ 新千歳空港 ⇒ 各空港（航空機） 各空港 ⇒ 解散場所（バス）</p>	

## <イベント・セレモニー紹介>

### ◆オープニングセレモニー

【日時】 平成24年7月21日（土）午前8時00分より

【開催場所】 仙台空港1階イベント広場

【プログラム】 日本赤十字社 東日本大震災復興支援推進本部長 見澤泉の挨拶

【参加者】 NH721便に搭乗する参加者の小・中学生約120名



(イメージ)

子どもたちがタラップより搭乗する様子を撮影いただけます

### ◆さっぽろ羊ヶ丘セレモニー

札幌観光協会のご協力により札幌市内での休憩地として「さっぽろ羊ヶ丘展望台」に立ち寄ります。初日には、第1陣の歓迎セレモニーを実施します。

【日時】 平成24年7月21日（土）11時30分頃予定

【開催場所】 さっぽろ羊ヶ丘展望台クラーク像前広場（北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1番地）

【プログラム】 観光大使フレンズとクラーク博士が一行をお迎えし、子どもたちが夢や希望をしたためた「大志の誓い」を投函します。

【参加者】 参加者の一部110名、札幌観光協会

### ◆入村式

【日時】 平成24年7月21日（土）16時40分予定

【開催場所】 ルスツリリゾート（北海道虻田郡留寿都村字泉川13番地）

【プログラム】 クロスヴィレッジの村長挨拶、スタッフ紹介、アイスブレイク

【参加者】 1回目の参加者である3県から集まった330名の小・中学生

## <スタディープログラム紹介>

### 「救急法・キッズファーストエイダー」

日本赤十字社が全国で展開している、自分や周りの人を助ける方法を身につけられる講習です。

「心肺蘇生とAEDの使い方」「三角巾を使った止血法」を学び、人と人が助け合うことの大切さ、そのために役立つ知識と技術を習得します。



(イメージ)



(イメージ)

<アクティビティープログラム紹介>

「アクティビティープログラム：フィールドワーク」

フィールドワークは、地図とコンパスを用いて山野に設置されたポイントを90分間に通過し、ポイントにある国旗をより多く集めてゴールする野外プログラムです。

※「オリエンテーリング世界選手権・開催会場」で行います。

●チームワークの大切さ、困難に挑戦したり、他者との信頼関係を築きながら共に物事を進める喜びを学びます。



(イメージ)



(イメージ)



(イメージ)



(イメージ)

グループ編成：1グループ14～15名/2チーム×11グループ=22グループ+グループサポートスタッフ1名

参加者が自由に選べる8つのプログラム

①溪流えさ釣り  
(雨天時はレザーワーク)



インストラクターの指導のもと、イワナ、ヤマメ、ニジマス等の基本的な、えさ釣りの方法を学びます。

②乗馬教室  
(雨天時はキャンドルクラフト)



インストラクターの指導のもと、特設会場にて馬の扱いについて学んだり、馬の尻毛を使ったストラップ作成、乗馬を楽しみます。

③農作物収穫体験  
(雨天時はMYハシ作り)



留寿都村特産のジャガイモを契約農場にて収穫し、その場で洗い焼いて試食します。熱が通りやすいよう小さめのジャガイモの予定です。併せてミニトマト等その時期に収穫できる野菜も収穫して試食します。

④クライミング  
(雨天時変更なし)



施設内に特設会場をご用意し、初心者の方でも安心して体験できるようインストラクターの指導のもと、道具を使わずに自分の手と足だけで壁(岩)を登るフリークライミングに挑戦します。

⑤酪農体験+バター作り体験  
(雨天時はMYハシ作り)



インストラクターにより牧場の仕事や牛の体について学び、牛舎を見学します。新鮮な牛乳を使用しバター作りに挑戦します。

⑥レザーワーク  
(雨天時変更なし)



本皮を使ってオリジナルストラップ&キーホルダーを作ります。

⑦キャンドルクラフト  
(雨天時変更なし)



色鮮やかなオリジナルろうそく作りに挑戦します。完成品はお持ち帰りいただけます。

⑧MYハシ作り  
(雨天時変更なし)



お好きな木材と長さを選んで、自分の手で磨きあげたMyハシを作ります。

## <日赤キッズクロスプロジェクトとは>

東日本大震災では、学校をはじめとする教育機関も大きな被害を受け、授業の再開に時間を要し、特に、校舎が地域住民の避難所となった学校では、子どもたちの学習や活動が制限されました。また、被災した児童・生徒を受け入れている学校でも、学校生活に必要な備品が不足するなど、さまざまな課題を抱えていました。こうした状況を受けて、日本赤十字社では、教育の拠点である学校を中心に、子どもたちが一日も早く、もとの生活を取り戻すことが出来るよう、健康と教育の両面からの支援を行っています。主な活動内容は、下記のとおりです。（数字は平成24年3月末時点）



### ① スクールバスの運行支援

学校から遠く離れた仮設住宅で生活している子どもたちは、遠距離通学や、転校を余儀なくされました。そこで、子どもたちの通学の足を確保するために、スクールバスの運行を支援しています。

→岩手県山田町の4校に6台、福島県大熊町(いわき市内)の2校に2台を寄贈済み。

### ② 保健室への備品の整備

被災した学校の保健室に、身長計、体重計、視力計、ベッドなどの備品を届けています。届いた学校では、早速生徒たちの身体測定が行われるなど、子どもたちの健康と安全を守るために活用されています。

→岩手県、宮城県内の小・中学校、高校計157校の保健室に、計1,719点を配布済み。

### ③ 仮設体育館の整備

津波で校舎が流出するなどして、仮設校舎に移転した学校に対し、公的な資金の対象とならなかった仮設体育館の整備を支援しています。完成した仮設体育館は、体育の授業のみならず学校行事にも活用されています。

→岩手県大槌町、福島県飯館村の2カ所に整備。体育館用具や備品は岩手県、宮城県の小・中学校7校に計537点整備済み。

### ④ 学校給食センターの資機材設備

学校の給食室や、市町村の給食センターに食器、保管庫、冷蔵庫などの備品を整備しています。その結果、子どもたちに、温かく多様なメニューの給食が届けられるようになりました。

→岩手県釜石市の給食センター(3カ所)、宮城県石巻市給食センターや特別支援学校(7カ所)、福島県大熊町や南相馬市(5カ所)に計8,931点を整備済み。

### ⑤ 健康・安全に関する講習

子どもたちの健康を守るためには、子ども自身や保護者が、正しい知識や技術を身につけることが大切です。そこで、赤十字が持つ救急法講習などのノウハウを活用した、特別講習会を被災地で開催しています。

→岩手県・福島県内の幼稚園、保育園で計8回実施済み。

### ⑥ 屋内プレイランド(すまいるぱーく)の開催

放射線被害を心配して外での活動を制限されている子どもたちは、精神的ストレスや運動不足にさらされています。そんな福島の子子どもたちが心身のリフレッシュを図り、安心してのびのび遊べる場所を提供しています。

→平成24年2月の開催では、約5,340名の親子連れが参加。今年度も福島県各地で計6回開催中です。

この教育支援プログラムは、日本赤十字社が行う本災害の救援・復興支援活動のために世界各国の赤十字社を通じて寄せられた約979億円にのぼる「海外救援金」を財源としています。

※国内外の多くの皆さまからお寄せいただいた「義援金」は本事業には一切、使用いたしません。義援金は全額が被災都道県に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々に届けられています。

★さらに詳しくはこちらをご覧ください。→ <http://www.irc.or.jp/shinsai2011/child/>